

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公開番号】特開 2001-333418 (P2001-333418A)
 【公開日】平成 13 年 11 月 30 日 (2001.11.30)
 【出願番号】特願 2000-148888 (P2000-148888)
 【国際特許分類】

H 0 4 N **7/18** **(2006.01)**

G 0 9 G **5/36** **(2006.01)**

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 7/18 E

H 0 4 N 7/18 U

G 0 9 G 5/36 5 2 0 D

G 0 9 G 5/00 5 1 0 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 5 月 7 日 (2007.5.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

接続された 1 以上の撮像装置から得られる映像の表示を行う画像表示方法であって、
前記 1 以上の撮像装置に関連する選択形式の質問を順次提示して、前記質問に対するユーザの選択結果に対応した画像表示画面の構成を決定し、その画面構成情報を出力する画面構成工程と、

前記画面構成情報に基づいて表示画面を生成する画面生成工程と
 を有することを特徴とする画像表示方法。

【請求項 2】

前記画面構成工程は、

前記質問により、予め保持された複数の表示のスタイルの中から使用するスタイルを選択するスタイル選択工程と、

前記質問により、前記選択された表示のスタイルの変更可能な属性を選択する属性情報選択工程と、

前記スタイル選択工程により選択された表示のスタイルと、前記属性情報選択工程により選択された属性とを関連づけて画面構成情報を生成する生成工程と
 を有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示方法。

【請求項 3】

前記画面構成工程は、前記選択された表示のスタイルの変更可能な属性を編集する属性編集工程を更に有することを特徴とする請求項 2 に記載の画像表示方法。

【請求項 4】

前記画面構成工程において出力された画面構成情報を格納する画面構成情報格納工程を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の画像表示方法。

【請求項 5】

前記 1 以上の撮像装置は、パン、チルト、ズーム、画質の内の少なくとも 1 つを含む撮

像方法の機能を制御可能であり、

前記画面構成情報は、前記機能を制御するための操作表示のスタイルを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の画像表示方法。

【請求項 6】

前記画面構成情報は、前記撮像装置の配置を示す地図表示を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の画像表示方法。

【請求項 7】

前記 1 以上の撮像装置は、ネットワークを介して接続されていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の画像表示方法。

【請求項 8】

ネットワーク機器自動検出プロトコルにより前記 1 以上の撮像装置の自動検出を行うネットワーク機器自動検出工程を更に有することを特徴とする請求項 7 に記載の画像表示方法。

【請求項 9】

接続された 1 以上の撮像装置から得られる映像の表示を行う画像表示装置であって、
前記 1 以上の撮像装置に関連する選択形式の質問を順次提示して、前記質問に対するユーザの選択結果に対応した画像表示画面の構成を決定し、その画面構成情報を出力する画面構成手段と、

前記画面構成情報に基づいて表示画面を生成する画面生成手段と
を有することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の画像表示方法を実現するためのプログラムコードを保持する記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、接続された 1 以上の撮像装置から得られる映像の表示を行う、本発明の画像表示方法は、前記 1 以上の撮像装置に関連する選択形式の質問を順次提示して、前記質問に対するユーザの選択結果に対応した画像表示画面の構成を決定し、その画面構成情報を出力する画面構成工程と、前記画面構成情報に基づいて表示画面を生成する画面生成工程とを有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、接続された 1 以上の撮像装置から得られる映像の表示を行う、本発明の画像表示装置は、前記 1 以上の撮像装置に関連する選択形式の質問を順次提示して、前記質問に対するユーザの選択結果に対応した画像表示画面の構成を決定し、その画面構成情報を出力する画面構成手段と、前記画面構成情報に基づいて表示画面を生成する画面生成手段とを有する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の好適な一様態によれば、前記画面構成工程は、前記質問により、予め保持された複数の表示のスタイルの中から使用するスタイルを選択するスタイル選択工程と、前記質問により、前記選択された表示のスタイルの変更可能な属性を選択する属性情報選択工程と、前記スタイル選択工程により選択された表示のスタイルと、前記属性情報選択工程により選択された属性とを関連づけて画面構成情報を生成する生成工程とを有する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明の好適な一様態によれば、前記画面構成工程は、前記選択された表示のスタイルの変更可能な属性を編集する属性編集工程を更に有する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

更に、本発明の好適な一様態によれば、前記画面構成工程において出力された画面構成情報を格納する画面構成情報格納工程を更に有する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の好適な一様態によれば、前記1以上の撮像装置は、パン、チルト、ズーム、画質の内の少なくとも1つを含む撮像方法の機能を制御可能であり、前記画面構成情報は、前記機能を制御するための操作表示のスタイルを含む。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明の好適な一様態によれば、前記1以上の撮像装置は、ネットワークを介して接続されている。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

好ましくは、前記画面構成工程は、ネットワーク機器自動検出プロトコルにより前記1以上の撮像装置の自動検出を行うネットワーク機器自動検出工程を更に有する。